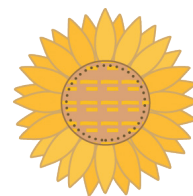


ひまわり



私の人生とスポーツ

付属病院通院中患者
朝日省一さん

私は2017年4月にバイク事故で両足を膝上から切断しました。同年6月にこの病院に転院し、義足歩行の練習のリハビリテーションを2018年3月まで10ヶ月間行いました。退院後も毎週木曜日はブレスクリニック（外来）に通い、歩行練習を続けています。前職（飲食業）には戻れませんでした。同じ境遇の方々に少しでも役に立てればと、現在は障害者介護者住宅リフォーム業の会社を立ち上げました。

また、障害者スポーツに興味を持ち、自分でも何かスポーツが出来ないかとインターネットなどで調べながら様々な障害者スポーツ協会に電話やメールをしました。しかし、中々体験などは出来ずに



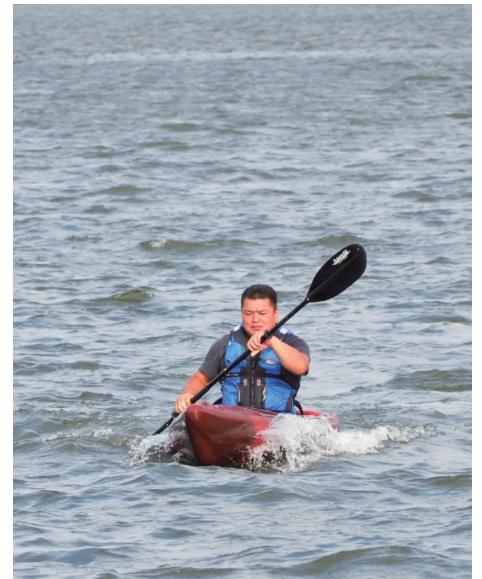
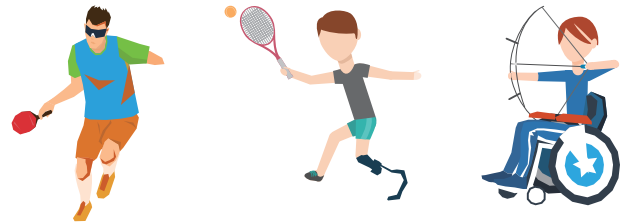
いました。体験会の敷居が高かったり、案内が分かりにくかったり、どうしてよいか分からなくなりました。そんな折、筑波大学附属病院の先生からパラカヌーの日本代表選手経由で日本障害者カヌー協会を紹介して頂き、土浦市のラクスマリナーナ内にある協会の関東ベースで体験出来る事になりました。今では週1回個人でカヌーに乗り、代表選手を目指して練習をしています。それと同時に水戸市でシッティングバレーのチームに所属し、



7月には第22回夏パラバレーボール選手権大会に千葉のチームに参加し優勝しました。茨城アストロプラネッツの車イスソフトボールチームにも所属し、レギュラーで試合に出ています。その他、水泳、陸上、車イスバスケット、ハンドサイクル、車イステニスなど様々なパラスポーツを体験することができるようになりました。これらの経験を踏まえ、来年初めには茨城県内で活動するNPO団体 障害者スポーツチーム『DTI Dream TEAM Ibaragi』を立ち上げる事になりました。茨城県は障害者スポーツチームが少なく施設環境がまだまだ整っていないため、国会議員、県議会議員、市議会議員、地元企業などの協力を元に様々な障害者スポーツの情報発信、体験会を出来るようなNPO（チーム）を作って行きたいと思っています。

最後になりましたが、自分も事故で両足大腿切断というハンデを負い、初めはこれからの人生どう生きて行けばいいのか自暴自棄になることがありました。生きていることがつらく、家族や身内に迷惑を掛けてしまう、そんな自分が嫌でしようが無くなり、何もやる気が無くなった時もありました。でも今では、様々な出会いの中で、こんな自分でも何か変えられる、出来る事が沢山あるのだと思えるようになって、住宅リフォーム業、障害者スポーツに打ち込める毎日を送っています。まだまだ障害者は周りからの目が色々ありますが、健常者障害者隔たりが無く生活、活動出来るように、障害者

自身が自分に何が出来るのか、何をやって行きたいのかを考え行動できるようにして行くべきだと思います。そのお手伝いができるように活動を続けていきます。ぜひ声をかけてください。これからの人生皆で楽しく過ごして行きましょう！



行事食「防災の日」を提供しました！

栄養科 酒寄 舞

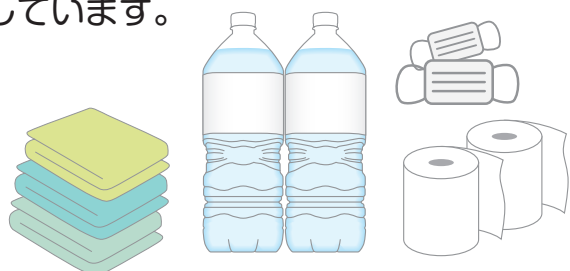
当院では、毎日の給食以外に食べる楽しみとして、また、食事を通して四季折々の伝統行事を楽しんでいただくため、旬の食材を生かした行事食を月2回程度実施しています。

もちろん、行事食においても患者さんの健康のために、エネルギーや塩分・食形態等を調整し、提供しています。

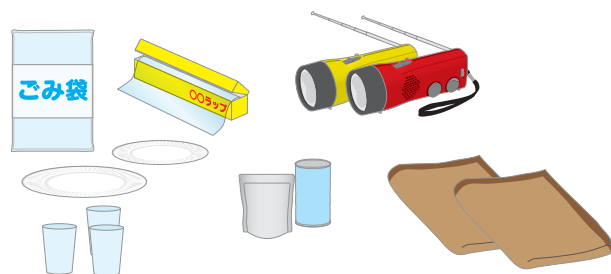
加えて栄養科では、メニュー紹介カードを添えてお出しするなどの食事以外の工夫も行い、行事食を通して皆様に食の楽しみをより知っていただこうと日々努めています。

9月3日は、9月1日「防災の日」に併せて、当院で実際に災害時提供する非常食を使用した行事食メニューを提供いたしました。今回は、鶏しお缶・ツナ缶・フルーツ缶を使用しています。

「防災の日」は、国民が地震などの災害について認識を深め、災害に対処するための心構えや備えを確認するために設定された日とされています。そこで栄養科では、入院中の患者さんにも改めて「防災」を意識していただく機会になればと思い、毎年9月に「防災の日」の行事食を実施しています。



いつでも対応できるように
準備を欠かさず行っております



献立

- ・とり塩うどん
- ・ツナ入り野菜炒め
- ・フルーツミックス



茨城県立医療大学付属病院の理念

患者さん本位の、
安全で良質なリハビリテーションを中心とした医療を行い、
患者さんが住み慣れた地域で、
安心して、その人らしく生活できるように支援します。

●基本方針●

- 1 患者さんの尊厳を第一に考え、安全で信頼性の高い医療を行います。
- 2 より良いチーム医療を行い、質の高い医療を提供します。
- 3 先進的なリハビリテーション医療の開発と実践を通して社会に貢献します。
- 4 県内リハビリテーション医療のレベル向上に努めます。
- 5 医療人としての誇りと、豊かな人間性を持った医療専門職の育成に努めます。
- 6 健全な経営に努めます。

医療機関のみなさまへ

◆◆◆ 画像診断サービスのご案内 ◆◆◆

当院では、画像診断サービスを地域の皆様に提供しています。リハビリテーション関連の疾患に限らず、画像診断に関することは広くご相談に応じます。

※他の医療機関の医師からの紹介が原則です。

～検査内容～

- ・一般X線撮影
- ・X線骨密度測定
- ・CT検査
- ・核医学検査
- ・MRI検査
- ・超音波検査

●本サービスを希望される場合は、医療機関からの電話による予約が必要となります。

TEL：029-888-9213

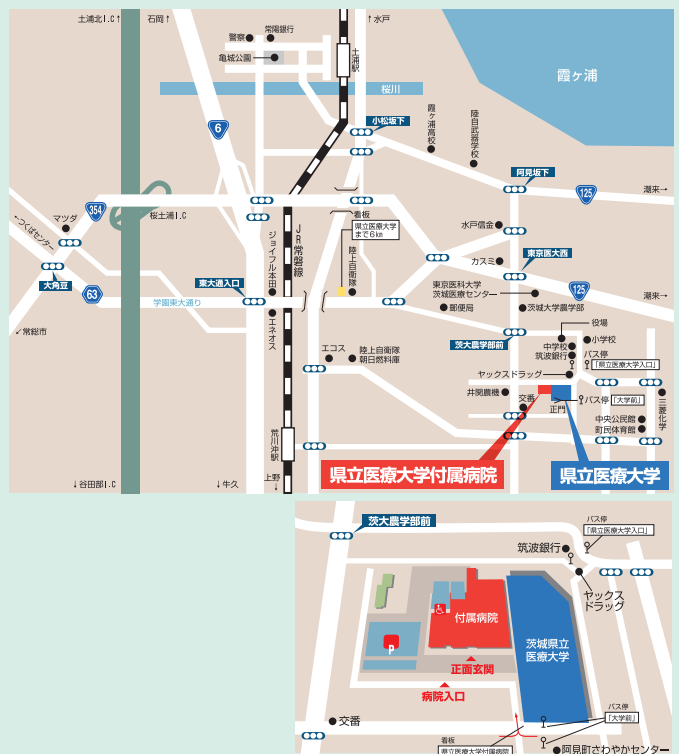
FAX：029-888-9274

詳しくはホームページをご覧ください。

～平成30年度診療実績～

- 延外来患者数 23,163人
(1日平均 94.93人)
- 延入院患者数 36,578人
- 新入院患者数 502人
- 退院患者数 511人
- 平均在院日数 71.21日

当院へのアクセス



●鉄道・バスをご利用の場合

J R常磐線 土浦駅または荒川沖駅で下車

□土浦駅（西口）からバスで約25分

「阿見中央公民館」で、

「県立医療大学入口」下車、徒歩約8分

□荒川沖駅（東口）からバスで約25分

「県立医療大学行」で終点下車、徒歩約3分

●お車をご利用の場合

□常磐自動車道「桜土浦IC」より約25分



茨城県立医療大学付属病院

Ibaraki Prefectural University of Health Sciences Hospital

〒300-0331 茨城県稲敷郡阿見町阿見4733

TEL.029-888-9200(代) ホームページ <http://www.hosp.ipu.ac.jp/>

